

第1決算審査 特別委員会委員長 報告

委員長	松枝 治幸
副委員長	古賀 知文
委員	中島 和正
	古賀 泰弘
	徳永 伸行
	松枝 友久

平成26年度一般会計 歳入歳出決算を認定

一般会計歳入歳出決算額の実質収支額は1億7634万4千円の赤字で、実質収支が良好な結果であったことは、財政の健全経営と評価する。しかし、実質単年度収支は2187万6千円の赤字で、今後予想される地方交付税の削減傾向からも、計画的な施策の実施と効果的な予算の執行に努め、今後も健全な財政運営を堅持することを期待する。



審査の様子

総務課

防災無線が完成したが、聞き取れない、聞こえないなどの苦情も多い。伝わりやすい放送になるよう要望した。役場内トイレの男子トイレと手洗いの自動化を要望した。クリーク消防水利の台帳整理の早期完成と消防水利を利用できなくなった箇所の消火栓設備の計画的整備を要望した。

企画課

景観・土地利用計画検討の進捗は、平成26年度は低かったが平成27年度はまちづくり基本条例素案まで進めたい。地方路線バス維持負担金は、費用対効果を検証しタクシー補助との比較など検討すべき時期ではと提案した。

税務町民課

県内においても高い徴収率ではあるが、町税の徴収については引き続き努力を期待する。

会計課

公金運用委員会は定期預金本位の運用から長期国債購入も視野に運用していく方針。

産業振興課

営農組合等の法人化は課題も多い。進捗状況については、校区毎に法人化に向けた協議を続けており、小さな団体を大同団結することや、集落営農組織のない地区についても、状況に応じて慎重に進めていく方針。



新規就農者との
現地対談

建設水道課

花宗太田土木組合は、水利慣行や社会情勢の変化の中で、組合の在り方など、関係機関との慎重なる議論を開始すべき時期ではないかと提案した。水路整備残地の処理の進捗に対し、早期の決着を要望した。



三八松の橋梁整備事業の
完成状況確認

平成26年度水道事業会計 剰余金の処分および 決算を認定

大木町水道事業剰余金1億6093万円余を処分する。水道料金の改定は、現在、料金体系や改定の手法について検討中であり、その時期については平成28年度以降との答弁であった。安全でおいしい水の安定的供給は当然のことながら、水道料金は、町民にとっても日常生活に密接なものであり、相当の周知期間と周知方法を設けて料金の改定を実施するよう要望。水道事業は、平成26年度は黒字決算だが、平成27年度から配水管路耐震化事業も取組まれ、更なる財政の健全化・効率化を図るよう指示。

出席委員全員一致により原案のとおり可決。

